

## 「おいしが うれしが」キャンペーンおよび環境こだわり農産物についての アンケート結果

県では、地産地消や県産農畜水産物等の消費拡大を推進する「おいしが うれしが」キャンペーンや、農薬・化学肥料の使用量を減らし、琵琶湖などの周辺環境に配慮した栽培を実践する「環境こだわり農業」の推進に取り組んでいます。

これらの制度をより良いものとするため、施策に対する県民の皆様の認知度や関心、意見等を頂戴するためにアンケート調査を実施しました。

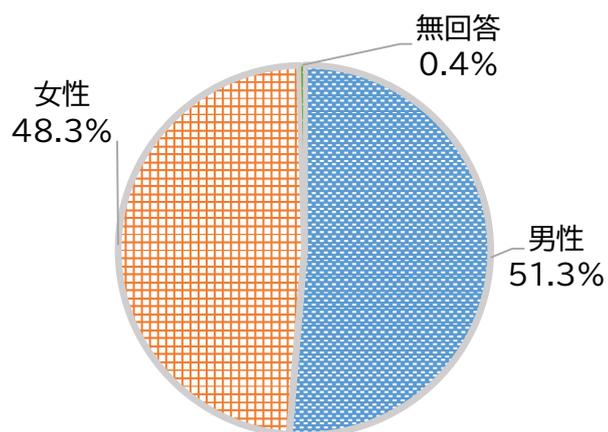
- ★調査時期：令和6年12月
- ★対象者：県政モニター299人
- ★回答数：232人(回収率77.6%)
- ★担当課：農政水産部 미래の農業振興課

(※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

### 【属性】

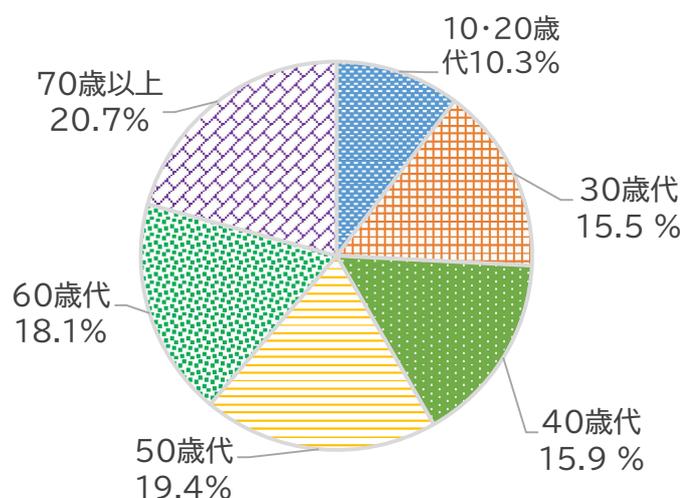
#### ◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	119	51.3
女性	112	48.3
無回答	1	0.4
合計	232	100



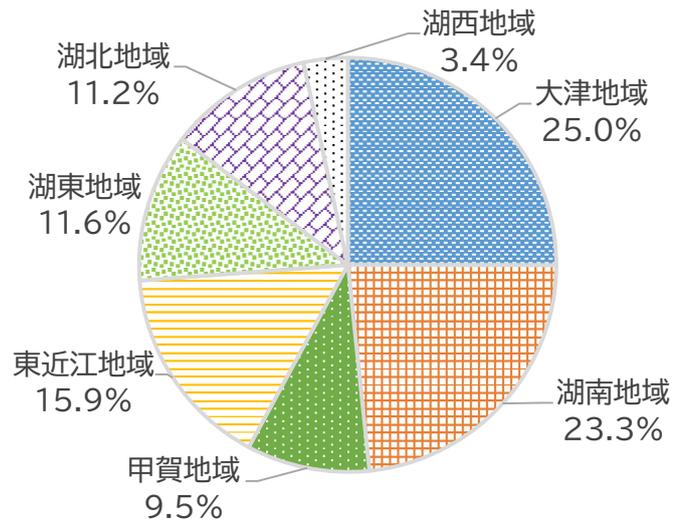
#### ◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	24	10.3
30歳代	36	15.5
40歳代	37	15.9
50歳代	45	19.4
60歳代	42	18.1
70歳以上	48	20.7
合計	232	100



◆地域

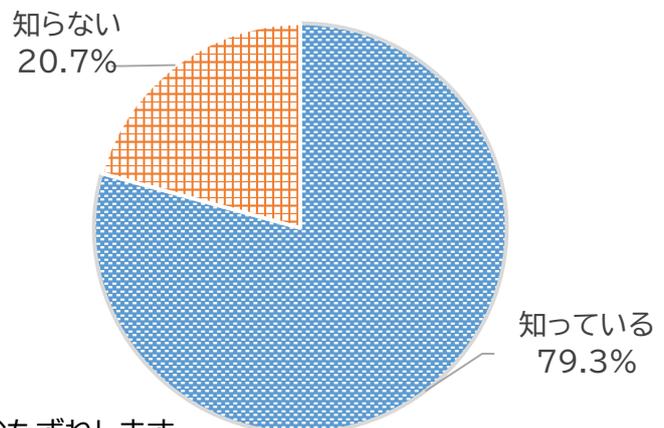
項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	58	25.0
湖南地域	54	23.3
甲賀地域	22	9.5
東近江地域	37	15.9
湖東地域	27	11.6
湖北地域	26	11.2
湖西地域	8	3.4
合計	232	100



問 1. あなたは、「おいしが うれしが」キャンペーンを知っていますか。

(n=232)

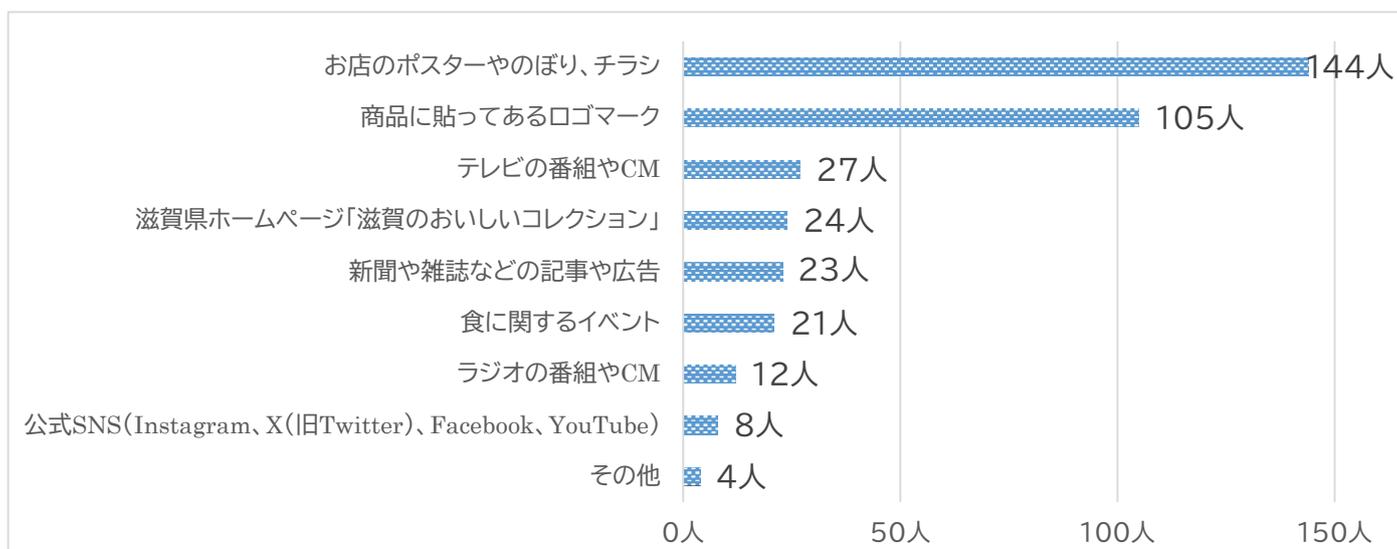
項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	184	79.3
2. 知らない	48	20.7
合計	232	100



問 2. 問1で「1. 知っている」と回答された方におたずねします。

「おいしが うれしが」キャンペーンを何で知りましたか。(回答チェックは3つまで n=184)

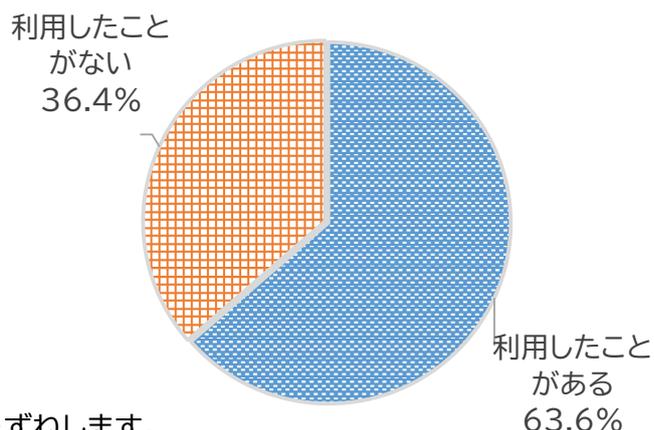
項目	人数(人)	割合(%)
お店のポスターやのぼり、チラシ	144	78.3
商品に貼ってあるロゴマーク	105	57.1
テレビの番組やCM	27	14.7
滋賀県ホームページ「滋賀のおいしいコレクション」	24	13.0
新聞や雑誌などの記事や広告	23	12.5
食に関するイベント	21	11.4
ラジオの番組やCM	12	6.5
公式 SNS (Instagram、X(旧 Twitter)、Facebook、YouTube)	8	4.3
その他	4	2.2



問 3. 問1で「1. 知っている」と回答された方におたずねします。

「おいしが うれしが」キャンペーンののぼりがある飲食店や小売店等を、キャンペーン推進店と認識して利用したことがありますか。(n=184)

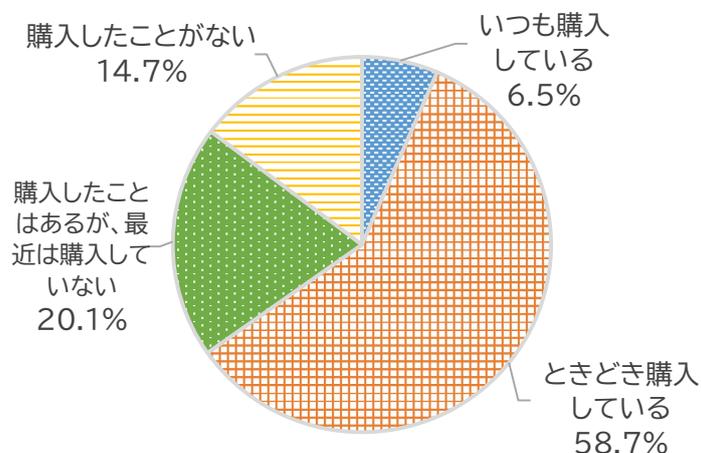
項目	人数(人)	割合(%)
1. 利用したことがある	117	63.6
2. 利用したことがない	67	36.4
合計	184	100.0



問 4. 問1で「1. 知っている」と回答された方におたずねします。

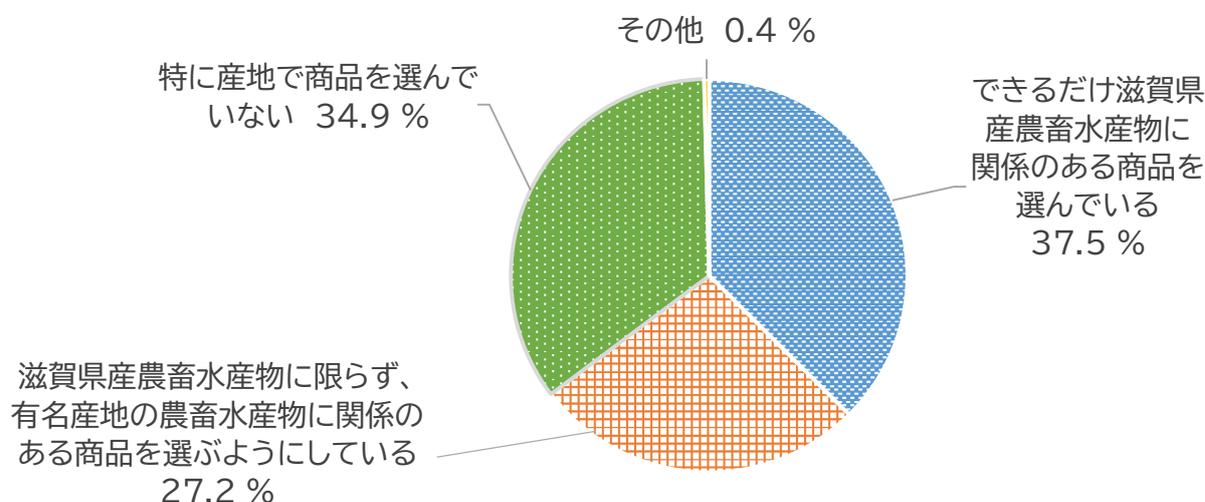
「おいしが うれしが」キャンペーンのロゴマークが入った商品を購入したことがありますか。(n=184)

項目	人数(人)	割合(%)
1. いつも購入している	12	6.5
2. ときどき購入している	108	58.7
3. 購入したことはあるが、最近では購入していない	37	20.1
4. 購入したことがない	27	14.7
合計	184	100



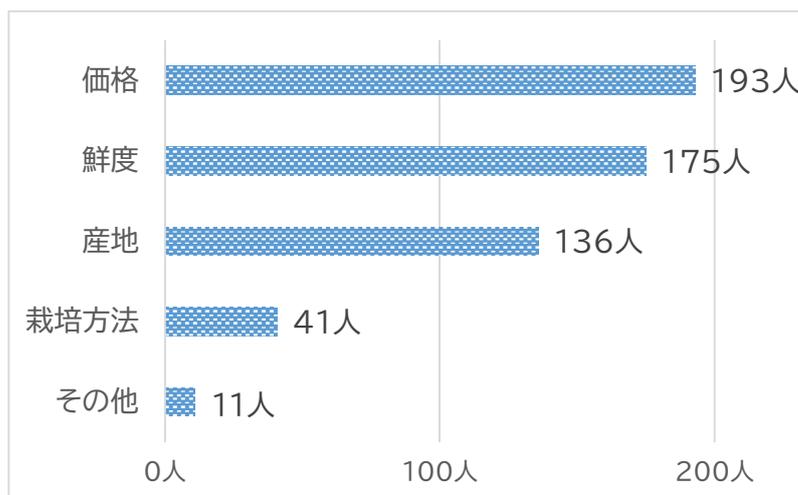
問5. あなたは滋賀県産の農畜水産物やそれを使った料理や商品を、意識的に選んで食べたり、購入されたりしていますか。(n=232)

項目	人数(人)	割合(%)
1. できるだけ滋賀県産農畜水産物に関係のある商品を選んでいる	87	37.5
2. 滋賀県産農畜水産物に限らず、有名産地の農畜水産物に関係のある商品を選ぶようにしている	63	27.2
3. 特に産地で商品を選んでいる	81	34.9
4. その他	1	0.4
合計	232	100



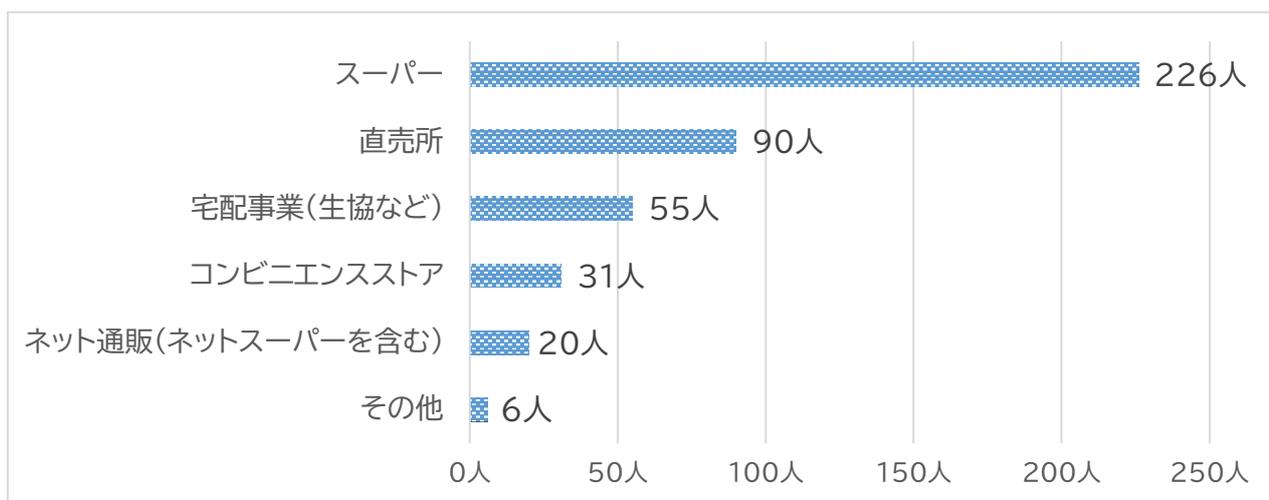
問6. あなたは、食料品を購入する際に何を重視して選んでいますか。(回答チェックはいくつでも n=232)

項目	人数(人)	割合(%)
価格	193	83.2
鮮度	175	75.4
産地	136	58.6
栽培方法	41	17.7
その他	11	4.7



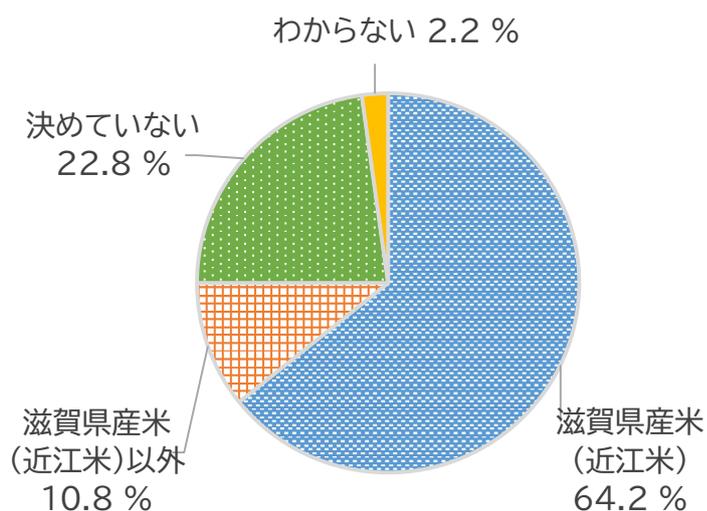
問7. あなたは、普段、食料品をどこで購入していますか。(回答チェックはいくつでも n=232)

項目	人数(人)	割合(%)
スーパー	226	97.4
直売所	90	38.8
宅配事業(生協など)	55	23.7
コンビニエンスストア	31	13.4
ネット通販(ネットスーパーを含む)	20	8.6
その他	6	2.6



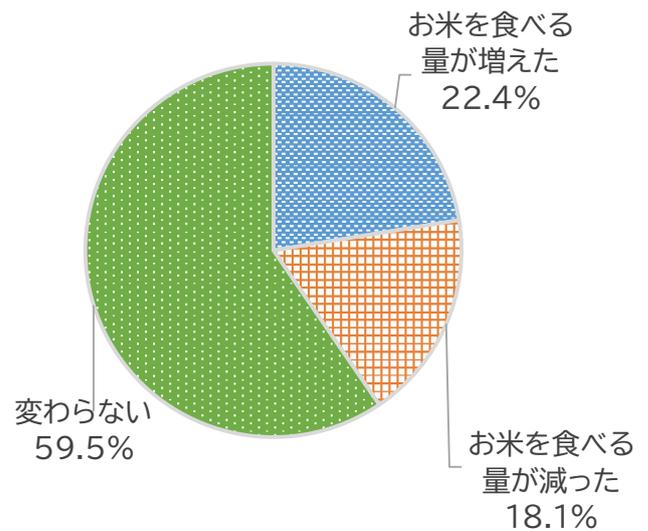
問8. あなたが普段食べているお米は次のうちどれですか。(n=232)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 滋賀県産米 (近江米)	149	64.2
2. 滋賀県産米 (近江米)以外	25	10.8
3. 決めていない	53	22.8
4. わからない	5	2.2
合計	232	100



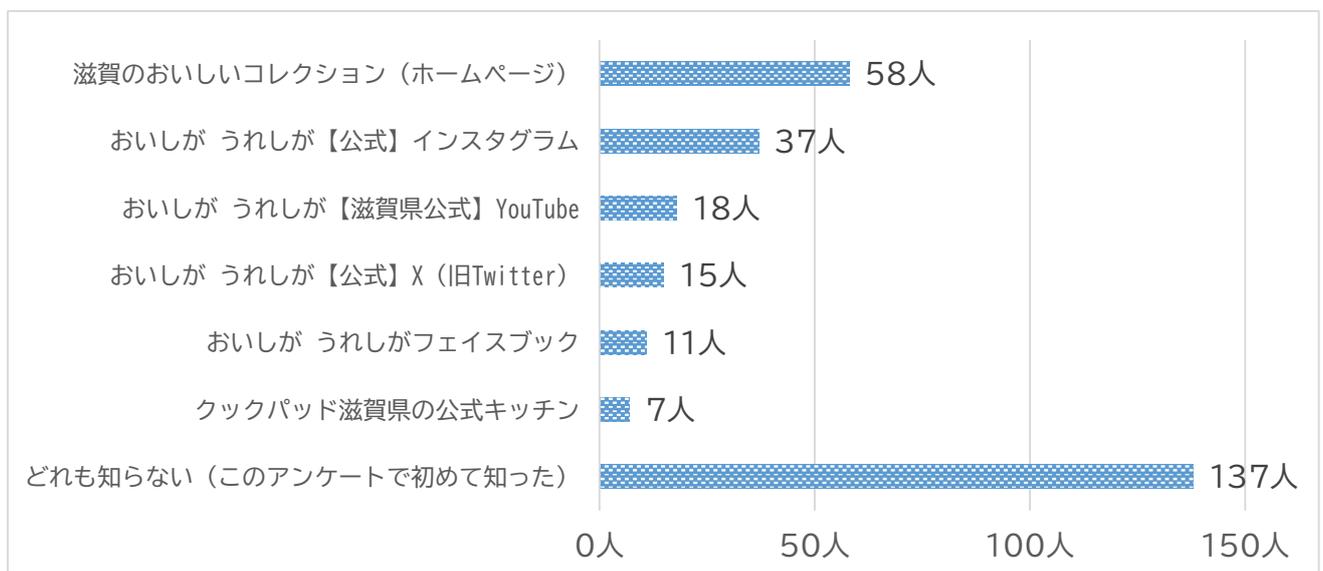
問9. 最近5年間で、あなたのお米を食べる量は変化しましたか。(n=232)

項目	人数(人)	割合(%)
1. お米を食べる量が増えた	52	22.4
2. お米を食べる量が減った	42	18.1
3. 変わらない	138	59.5
合計	232	100



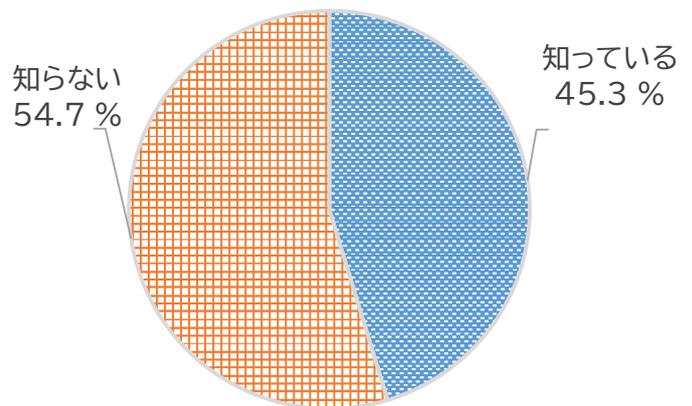
問 10. 県の食の情報発信媒体について、知っているものをすべて選択してください。(「どれも知らない(このアンケートで初めて知った)」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=232)

項目	人数(人)	割合(%)
滋賀のおいしいコレクション(ホームページ)	58	25.0
おいしが うれしが【公式】Instagram	37	15.9
おいしが うれしが【滋賀県公式】YouTube	18	7.8
おいしが うれしが【公式】X(旧 Twitter)	15	6.5
おいしが うれしがフェイスブック	11	4.7
クックパッド滋賀県の公式キッチン	7	3.0
どれも知らない(このアンケートで初めて知った)	137	59.1



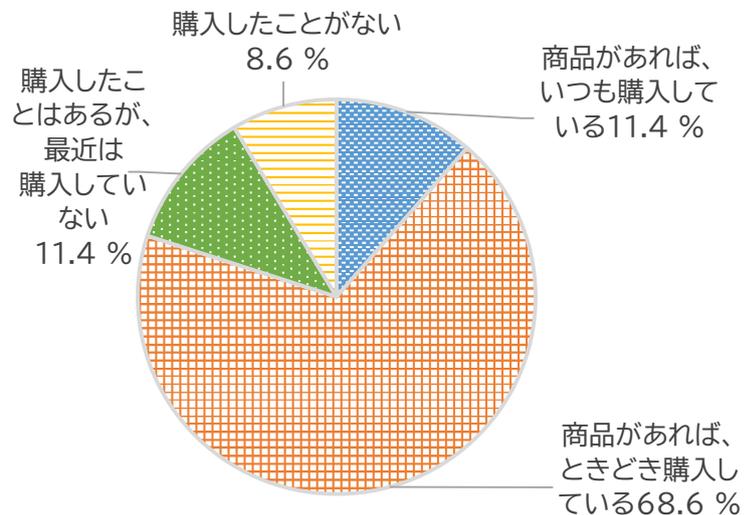
問11. あなたは、「環境こだわり農産物」を知っていますか。(n=232)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	105	45.3
2. 知らない	127	54.7
合計	232	100



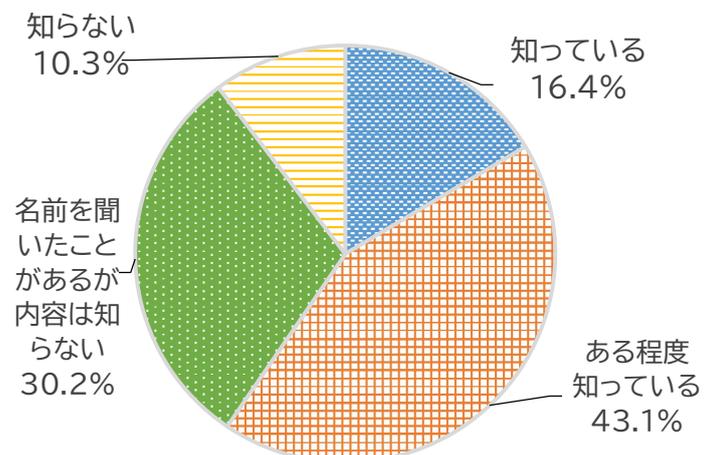
問12. 問11で「1. 知っている」と回答された方におたずねします。あなたは普段、「環境こだわり農産物」を購入していますか。(n=105)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 商品があれば、いつも購入している	12	11.4
2. 商品があれば、ときどき購入している	72	68.6
3. 購入したことはあるが、最近購入していない	12	11.4
4. 購入したことがない	9	8.6
合計	105	100



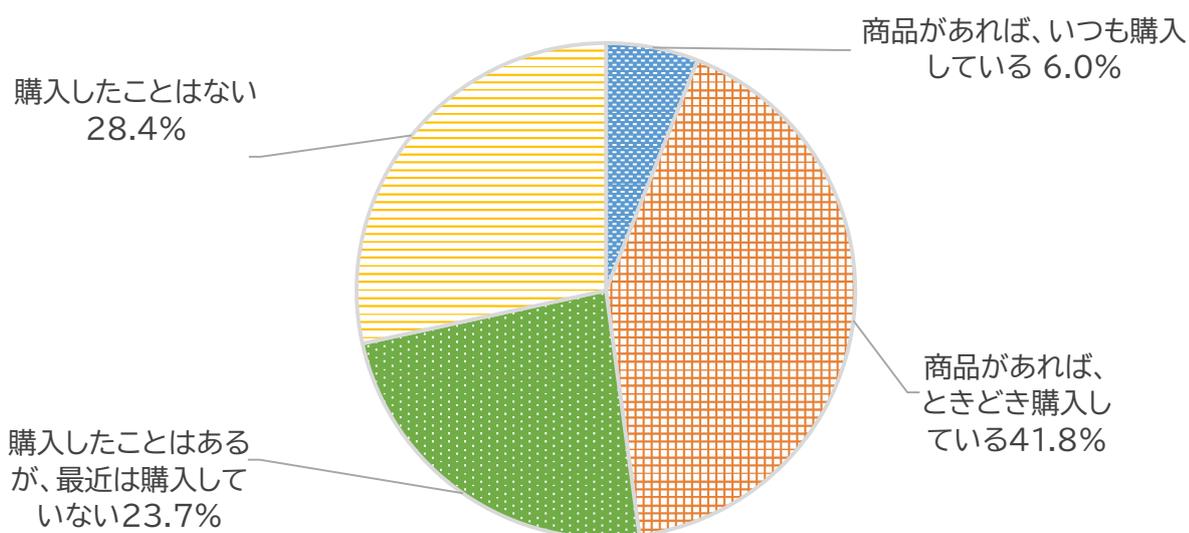
問13. あなたは、「オーガニック(有機)農産物」の定義を知っていますか。(n=232)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	38	16.4
2. ある程度知っている	100	43.1
3. 名前を聞いたことがあるが内容は知らない	70	30.2
4. 知らない	24	10.3
合計	232	100



問 14. あなたは普段、「オーガニック(有機)農産物」を購入していますか。(n=232)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 商品があれば、いつも購入している	14	6.0
2. 商品があれば、ときどき購入している	97	41.8
3. 購入したことはあるが、最近では購入していない	55	23.7
4. 購入したことはない	66	28.4
合計	232	100



問 15. その他、「おいしが うれしが」キャンペーン、「環境こだわり農産物」、「オーガニック(有機)農産物」についてご意見等がありましたらお聞かせください。(抜粋)

◆「おいしが うれしが」キャンペーンについて

- おいしが うれしが という名称がユニークで、見つけたら一旦手に取り、美味しそうなら買うようにしています。滋賀県を少し応援できているような気持ちになります。これからも楽しみにしています。
- web で色々と公開されていて、見やすく探しやすい形になっていていい感じかと思います。お店やレシピの公開など使いやすくなっています。
- 「おいしが うれしが」キャンペーンはよく耳にするが、やはり県全体から見れば一人ひとりの理解は薄いと思うので、やはり滋賀県としてはその認知と協力を深めるべく、ふるさと納税などの対象品目に加えて、PRしていってほしい。

#### ◆「環境こだわり農産物」について

- 他県から滋賀県に移住して環境こだわり農産物の事を知り、県が主導して減農薬に取り組んでいることに感心した。ただ環境こだわり農産物を扱っている店が少なく、入手できる農産物の品目が限られているのも残念である。オーガニック農産物にも興味があるが、使用する堆肥によっては有機野菜だから安心と限らないという見方もあり、価格の問題もあって購入に至らないのが現状である。

#### ◆オーガニック(有機)農産物について

- 子や孫の未来を思うと、食べ物が体を作るので、オーガニック農産物にこだわりたいと思います。
- オーガニックで高価値を見出すのは無理があると思う。現状物価高に給与が追いついていない。早くオーガニックが普通になってほしいと思う。
- 自然栽培の農家さんがもっと増え、直接購入できるようになると嬉しい。そういう取組をしている生産者さんの連絡先リストなどがあれば欲しいと思います。

#### ◆共通・その他

- 生産者の苦労に見合った対価を払わないとこれから先、滋賀県産農産物は生き残れないと思う。激変する環境の中でおいしくて安全な農産物を作ってくださっている農家の方は本当にすごい。農業を儲かるやりがいのある職業選択肢のひとつにしていくことが私たちに課せられた使命だ。
- 滋賀のお米は今後も購入していきたいと思っている。
- 「環境こだわり農産物」「オーガニック農産物」である事をもっと自信をもって明示し、大きさ、形、色などの選別基準の規格外のものでも、そのまま、もしくは加工品にして販売するサポートを期待します。
- 地産地消は重要なことであるが、滋賀県産の農畜産物にこだわりすぎると発展がない。美味しいものは美味しく食べるべきである。滋賀県産にこだわることで価格高騰に対応できず、食べたくても食べられない状況の方もいる。県民の懐財政に歩み寄り、地産地消に合わせた支援を充実させてください。
- 物価が上昇する中、どうしても金額重視になってしまいます。滋賀県産のものが置いてあっても、類似品で安いものがあれば、安い方を購入してしまいます。
- 「おいしが うれしが」キャンペーン、「環境こだわり農産物」、「オーガニック(有機)農産物」についての新着情報を滋賀県 HP からまとめてみる仕組みがあると便利だ。
- きらみずきが美味しいと思っているが取扱店が少なく宣伝もあまり見ないように思う。
- 国産食料品以外は農薬、その他衛生面で懸念される。国産食料品でも「虚偽表示」をする業者がいるので注意が必要。ましてや有機栽培はそれなりの手間暇をかけているのでより希少価値がある。
- 滋賀のお米は率先して購入している。滋賀県産のものを県民が安く買える仕組みがあれば面白いと思うし、一気に普及すると思う。
- 滋賀ブランドとしては近江牛くらいしか思いつかない。周知させるには県内のスーパーや道の駅での大展開が必要ではないだろうか。

- 滋賀県の農業、環境保護、食文化を推進するうえで大きな意義を持ち、「県民自身の誇り」と「消費者へのわかりやすい価値提供」が重要になると思いました。地元の農産物を選びたいようになるように消費者へわかりやすい形でアピールを行えば購買者は増加すると思います。
- 身近すぎてあまり魅力に感じない点が多い。都会の人に売ったら受けが良く付加価値がついて値段もより上げられるのでは？値段が上がれば栽培する人も利益が取れるし環境にも優しい取組にもなる。
- スーパーや宅配購入時に滋賀県産と書かれている物を購入している。また、道の駅へ地元の野菜を買いに行っている。無農薬でなくても地元産というだけで安心感があるのでできるだけ地元産を買うようにしている。